

【生薬名】 阿膠 *ASINI CORII COLLAS*

【起源動物】 ロバ *Equus asinus*

【科名】 ウマ科 Equidae、



【別名】 山東阿膠

【薬用部分】 ロバの毛を去った皮・骨・腱又は靱帯を水で加熱抽出し、脂肪を去り、濃縮乾燥した物

【主成分】 コラーゲン、グルチン、コンドリン、アミノ酸

【薬性】 気味は甘平、帰経は肺肝腎に属す

【効能】 ●補血・止血・滋陰・潤燥

●造血作用、止血作用、昇圧作用を有す

●陰虚の出血に用いる、特に燥咳・虚熱の咯血によい

●機能性子宮出血の常用薬で艾葉・四物湯などを基本に配合する

●心血虚による神経衰弱には黄連等を配合する

●用量は1日3～15g

【出典】 ●主治諸血証、故兼治心煩不得眠者。（薬徴続編）

●味甘平、主心腹内崩、劳極灑灑如瘡状、腰腹痛、四肢酸疼、女子下血、安胎、久服輕身益氣。（神農本草經）

●阿膠 甘温、欬を止め、膿血、吐衄、胎崩、虚羸、啜る可し。（薬性歌）

【備考】 ●阿膠は消化され難く、胸や腹がつかえて脹る脾胃気虚の者には適さない

●阿膠がなければ代わりにゼラチンを代用しても良い

●黒い山東阿膠（ロバ）が最良で、次いで白い阿膠（ウシや豚）、ゼラチンは効果弱い

【処方例】 ●芎帰膠艾湯、温経湯

●炙甘草湯、黄連阿膠湯

●猪苓湯